



一般社団法人 Tokyo Professional Engineer Inc.

東京技術士会

PEIT Letter No.10 (2013.1.15)

会長の時流散歩

巳年のご利益とミャンマー国

会長 二宮 孝夫

平成25年、巳年が明けました。言い伝えによりますと、【十二支において“巳”は植物に種子が出来始める時期を表すと考えられているそうです。原字は胎児の姿を描いたもので、冬眠から覚めて地表にはい出た姿とも言われます。生命力が強く脱皮を繰り返すその姿から死と再生のシンボルでもあり、財運・子宝成就・安産の神として日本全国各地の寺社で奉られており、特に「白蛇」は神の遣いとされ崇められてきました】、とされています。少子高齢化社会が世界中で最速で進行している中で是非とも巳年にあやかりたい、と期待したいところです。

一方昨年は、今多くの政経界の話題を集めているミャンマー国に行く機会がありました。この国は人口6千万人規模で平均年齢は28歳ぐらいと言われており、我が国からみれば羨ましい潜在力

があります。2012年9月19日発行のNewsweek誌によれば、人口市場に加えて中国より安い人件費、豊富な天然資源、等、「最後のフロンティア」として世界の視線を一身に浴びており、外国からもたらされる投資やビジネスチャンスによって生活が改善するかも知れないと言う期待感と、軍政の抑圧から解放された開放感が確実に広がっている、と論じられています。実際、1月にヤンゴン市を訪れた際には、未だ海外との接続がスムーズでなかった携帯電話も、11ヶ月後の12月の再訪時には日本国内と同様に多くの人がスマートフォンを使っていました。このような急速なテクノロジーの発展は、これからのミャンマー国の全ての産業分野で発現してくることであり、日本の技術者・技術士が活躍する機会も多くあるのではないのでしょうか。



第12回たま工業交流展のご案内

(社)東京技術士会は、今年も「第12回たま工業交流展」に出展致します。ぜひご覧くださいませよう次のご案内をいたします。

開催日時:平成25年2月8日(金)~9日(土) 10時~16時

会場:東京都立多摩職業能力開発センター人材育成プラザ

(JR 青梅線西立川駅より徒歩7分)

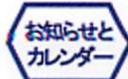
出展分野:①機械・金属・電気機器分野、②情報関連・ソフト関連分野、③環境関連分野、④その他製造業、⑤学校関連・協力団体(この分野に(社)東京技術士会が展示しています)

展示内容:①掲示物:(社)東京技術士会の技術・経営支援内容
②画像投影:SIGの説明、理科クラブの活動、産業交流展の出展風景 ③(社)東京技術士会の協

力関係会社の現物展示 ④(社)東京技術士会の各種PRパンフレット



▶東京技術士会に興味のあるお客様と業務相談のあるお客様



東京技術士会

でアクセスしてください。

▶入会問合せ、入会申込みをなされる方、上記と同様にHPにアクセスしてください。

▶PEIT会員向け定例会議情報(毎回13:00~17:00港区生涯学習センター)。1月23日(水)、2月27日(水)、3月以降、第4水曜日を予定しております。皆様ご参集ください。

東京技術士会は、平成24年度中小企業会計啓発・普及セミナー&第4回経営力向上セミナーを(独)中小企業基盤整備機構様、(社)多摩西部コンサルタント協会様、多摩信用金庫様と共催いたします。近年、資金調達先の多様化や、取引先の拡大を目指す中小企業にとって望ましい会計のあり方を促進することが重要な課題となっています。第I部では、「会計を経営に活かす～経営の高度化を目指して～」との標題にて、「中小企業の会計」について、その意義、導入上の留意点等について平易に解説することにより、中小企業の経営管理基盤の整備促進に資することを目的としています。会計の必要性和、決算書から何を読み取りそれをどのように経営に活かしていけば良いのか、(社)多摩西部コンサルタント協会会員の中小企業診断士・行政書士の林 隆氏が事例も交えてポイントをわかりやすくご説明します。

一方、厳しい経営環境下で事業を進めるためには、限られた自社資源を適切に配分した経営を行う必要があります。財務諸表に記載できる経営資源に限らず、技術・ノウハウや社員、顧客・取引先ネットワークといった形のない経営資源も生かすためには、これらを見る化して社内で共有する必要があります。

第II部では、「自社の強みを生かした経営～技術力の収益化を目指して～」との標題にて、どうすればこのような経営資源を

見える化することができるのか、見える化した後、それらを生かして収益化を図るにはどうすればいいのか、といったことを事例とともに紹介いたします。第II部の講師は、本会会員の技術士(宇宙航空部門)・弁理士(特定侵害訴訟代理業務付記)の深澤 潔が務めます。またセミナー開催と合わせて、個別経営相談会も開催いたします。参加費は何れも無料となっておりますので、奮ってご参加ください。

日時 平成25年2月22日(金) (参加無料)

第I部16:00～18:00第II部18:15～19:15(途中休憩あり)

会場:たましん事業支援センター(通称:WINセンター)

住所:東京都立川市曙町2-8-18東京建物ファール立川ビル1F

Tel:0120-778-265

(平日 9:00～17:00)

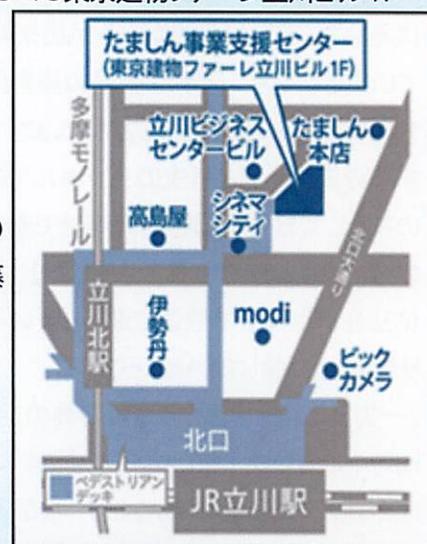
問合せ先: 北口経営事務所

☎&Fax042-560-2260

まで(武蔵村山市三ツ藤1-60-14)

Email: kitaguchi.keiejimusyo

@nifty.com



最近、大きく注目されている植物工場ですが、いくつかの課題があるとされています。エネルギー的な課題や、育成などについて議論がありますが、その最も大きな課題点は、

初期投資(設備費)

が重たいことです。事業的に考えれば、設備費は生産物である野菜類のコストになります。

では、その設備等の設置費用を極限まで低減しようと活動している株式会社技術経営機構(03-5640-1791, www.tmoi.jp/shokubutu.html)の植物工場を紹介しましょう。基本的な開発戦略方向は、単純化・人間の活用です。

- (1) 汎用部品を極力採用して多用すること
- (2) 自動機能等を使わない
- (3) クリーンルーム機能を使わない

このようにして開発された植物工場は、8万円/m²程度と従来

に比較して1/10以下となりました。同社では育成ノウハウと消耗品、コンサルティングを提供しております。

ご質問は一般社団法人東京技術士会技術評価センター



▶お問い合わせ先

下記方法で【オフィシャル・サイト:一般社団法人 東京技術士会】にアクセスし、【お問合せ】のボタンをクリックして通信文をご記入ください。

東京技術士会

検索

おくづけ

PEIT Letter Vol. 10

発行年月 2013年1月15日

発行者 一般社団法人東京技術士会

http://www.tokyo-gijutsushikai.jp/index.htm

年4回発行 季刊 定価50円